

欲望のありか

人生において、欲望のままに生きることは難しい。

好きなことをして生きていける人はどれくらいいるだろうか。

欲望が「わがまま」にならないような人生にしたい。

「好きなことを」をもう一度見直し、欲望を「裏面」なものにする。

そして世界は少しずつ変わっていく。



見つめ直し、他に向ける

「好きなこと」を見つめ直す空間。

そしてそれは他人に与えるものか確かめる空間。

お互いが受け入れ合ったり、反対したりして「好きなこと」欲望を裏面すっけになる。そうしてできた空間は、自分の「好きなこと」であると同時にまわりの誰かを生かしている。

様々な入り組んでいる空間がある。

ここで空間を作らなくてはいけなくて他と交わる。

そこで他の意見を取り入れたら、好きなことを確かめたりする。

約束ごと

1. 何もない空間に1家族

→好きな空間をつくる。

2. 何もない空間に複数家族

→空間を一緒につくる。利用者は話し合いで決定。

3. 既存空間に複数家族

→話し合いののち、空間の作り替え。利用者は話し合いで決定。

空間を拡張しようとしても、他が拡張した結果、空間が定まりやすくなり、住人全員参加の集合住宅となる。

かたち



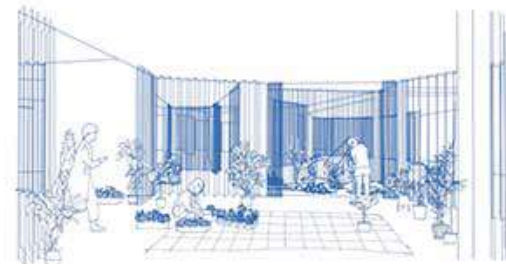
海上で風が吹くと波が発生する。立ち止めた波は風の吹く方向に進んでいく。

波の進む速さが風の速さに近いにつれて波は加速し続ける。

人の動きは風。欲望は波である。人は動き回り、「好き」が異なる方向から向かってくる。

欲望がお互いのためになるまで空間は変わり続ける。人の欲望は加速する。

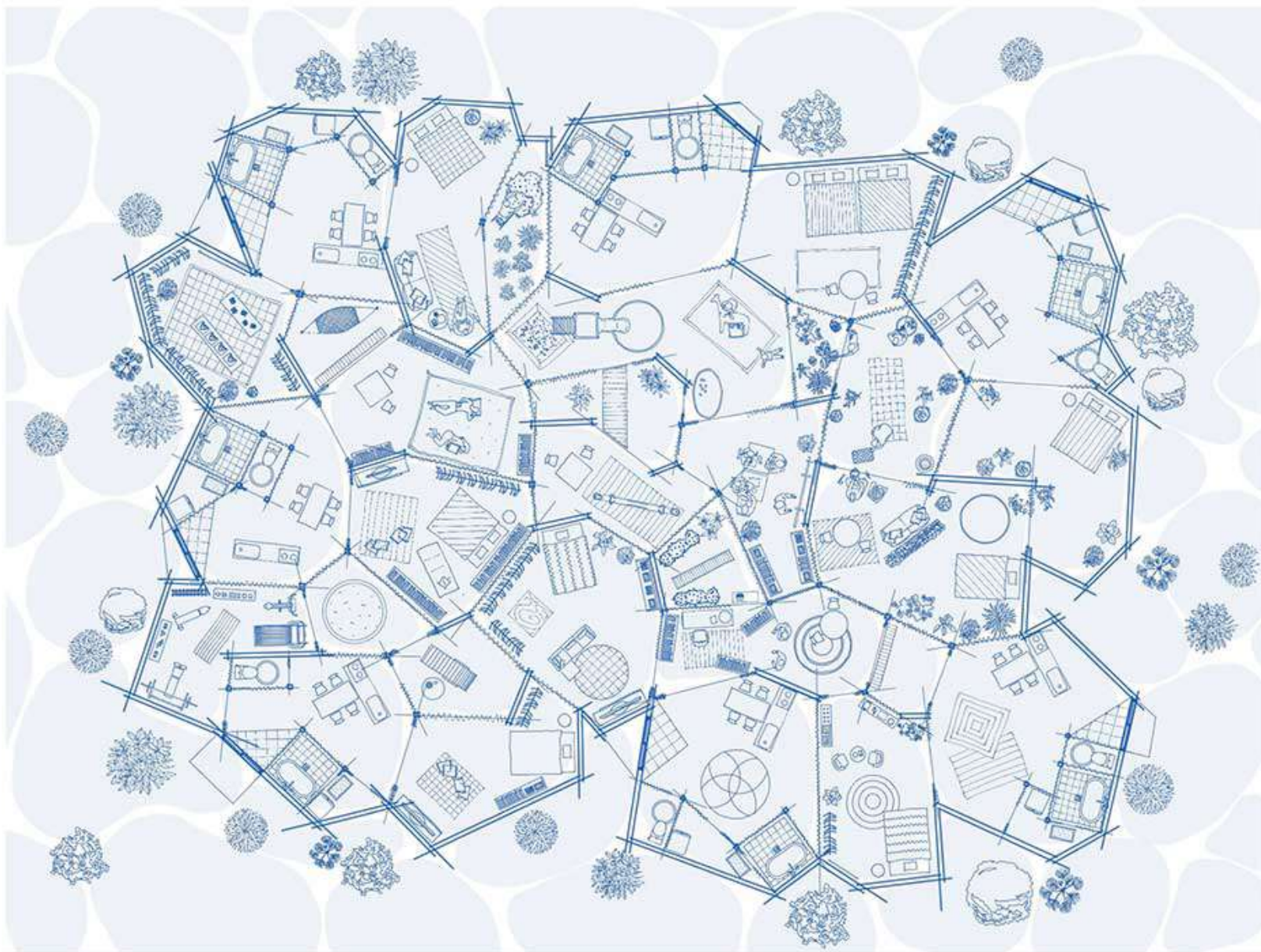
やがて「好き」が他の誰かを生かしてゆくものになったとき、波は安定し、空間は決定する。



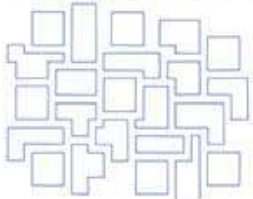
空間の境涯には半透明のカーテンが掛けられている。

向こうで何をしているのだろうか。気にならなから。興味を持ちながら生活する。

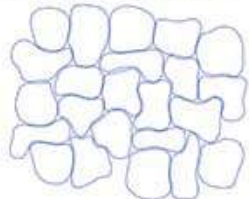
興味を持ったのなら話しかけてみよう。「好きなこと」を話してみよう。話してみよう。一緒に空間を作ってみよう。



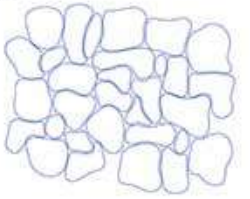
波は、様々な向きに流れが発生する。人が欲望のままに動き回りそこで波が発生し、さまざまなかたちに姿を変える。



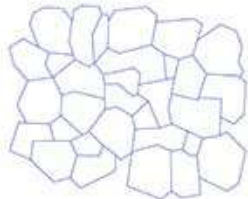
様々なかたちの「3-10-10」を組み合わせ、多様な空間を構成する。



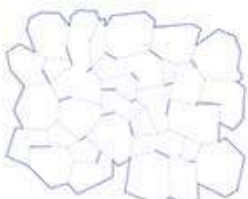
隙間を埋めて、空間どうしをつなげる。このとき空間は波流のかたちをしているだけ。



小さな空間に付けて空間の種類を増やす。



面積を適度に広げて「好き」をつくりやすい空間にする。波流はオーバーラップして多角形を組み立てた平面に。



空間の境涯をカーテンにすることで空間を繋げたり、仕切ったりしてさらに多様な形になる。ここで初めて風が吹いて波が立ち、波流になる。



空間と水田の配置を決める。そのほかの空間はすべて構築していく。